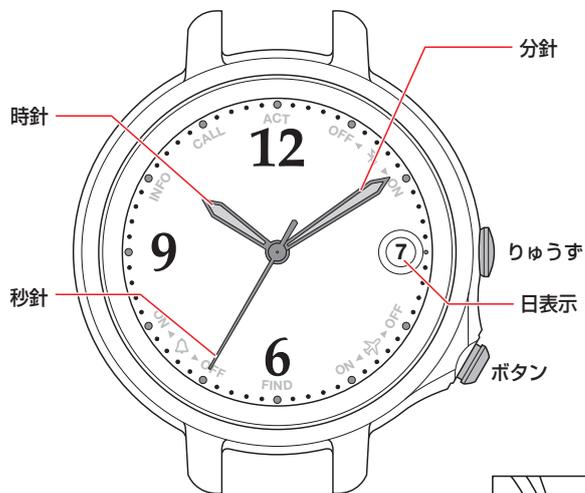


- ・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- ・充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  W410 取扱説明書
- ・PDF上で  動画  アイコンをクリックすると、動画をご覧いただけます。

## 各部の名称

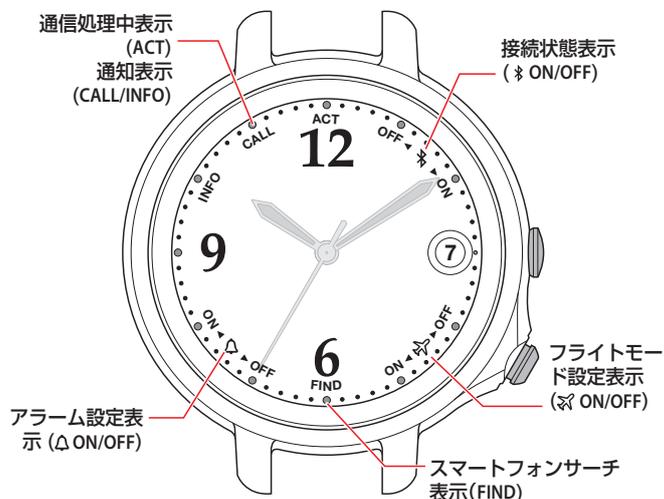
### 針とボタン



- ・お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- ・りゅうずの引き出し位置は2段階あります。



### 表示



## スマートフォンを接続する前に

この時計は、省電力通信技術 **Bluetooth Low Energy** を使用し、スマートフォンと接続します。接続には、スマートフォンに専用アプリ「**CITIZEN Eco-Drive Bluetooth S**」をインストールし起動させ、ペアリング(登録)する必要があります。接続までの流れは、次のようになります。

- ・Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- ・Androidは、Google Inc.の登録商標です。
- ・iOSは、Apple Inc.のOSの名称です。IOSは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

専用アプリのインストール



専用アプリの起動



ペアリング(登録)



接続



切断

## 接続できるスマートフォンについて

接続できるスマートフォン(Android OS 7.0/iOS 11.4以降に対応)や専用アプリについての情報は、次のサイトで確認できます。

<http://citizen.jp/support/guide/manual.html>

## 時刻受信について

この時計は、スマートフォンに接続するごとに時刻情報を取得し、自動で時刻・カレンダーを合わせることができます。

また、この時計は、一日に一度、時計の表示時刻の午前3時以降に光が当たると、切断中であっても、自動で一時的にスマートフォンに接続し、時刻・カレンダーを合わせます(自動時刻受信)。

- ・自動時刻受信には、スマートフォンとのペアリングが必要です。
- ・時計がパワーセーブ中のときは、解除後に自動時刻受信が始まります。
- ・次の場合、自動時刻受信は動きません。
  - りゅうずの位置が0以外のとき
  - 時計の充電量レベルが「0」(充電警告)のとき



## スマートフォンをペアリング(登録)する

動画

時計とスマートフォンを接続するときは、まずペアリングを行います。  
 ・2回目以降のペアリングは、[Setting]画面の[ペアリング]から行います。

### ペアリングを行う前に

- ・ペアリングを行うと、固有の情報(ペアリング情報)が時計とスマートフォンにそれぞれ保存されます。
- ・すでにペアリング情報が保存されている時計で、新たにペアリングを行うと、既存のペアリング情報は破棄され、新しいペアリング情報が保存されます。

### ペアリングする

- ・ペアリングには、時計とスマートフォンの両方の操作が必要です。

#### ■ スマートフォンの操作

- 1 アプリサイトから、専用アプリ「CITIZEN Eco-Drive Bluetooth S」をインストールする
- 2 専用アプリを起動する
  - ・アプリ画面は、ペアリングが完了するまで表示させたままにしておきます。
  - ・Bluetooth使用の許可を求めるダイアログが表示されたら、許可します。その他の許可については、画面にしたがって対応ください。
- 3 [時計と接続する]をタップし、[OK]をタップする  
 ペアリング画面が表示されます。

#### ■ 時計の操作

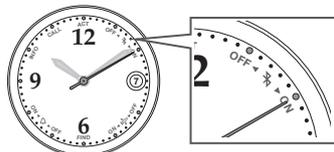
- 4 りゅうずの位置が①で、秒針が1秒ごとに動いていることを確認する  
 ・秒針が動いていないときは、ボタンを1秒間押し続けます。
- 5 ボタンを4秒間以上押し続ける  
 ・秒針が一度「ACT」(0秒位置)を指し、左右に振れた後にもう一度「ACT」を指したら、ボタンを離します。  
 ペアリングが始まります。

#### ■ スマートフォン

- ペアリングが完了すると、「connected」(接続済み)と表示されます。
- ・ペアリング完了までに、およそ20~30秒かかる場合があります。

#### ■ ペアリングに成功すると

時計の秒針が接続状態の「※ ON」(10秒位置)を一時的に指し、秒表示に戻ります。



秒針が接続状態の「※ OFF」(5秒位置)を指すときは、ペアリングをやり直す必要があります。

- ・ペアリングをやり直すときは、時計のボタンを1秒間押し続け、接続状態の「※ OFF」表示を解除します。

## スマートフォンを接続/切断する

### 接続状態を確認する

動画

- 1 りゅうずの位置を①にする
- 2 ボタンを押す  
 秒針が、現在の接続状態(※ ON/OFF)を表示します。

※ ON		接続中
※ OFF		接続は切断されています。

- ・10秒間経過すると、秒針は自動で秒表示に戻ります。ボタンを押すと、すぐに秒の表示に戻ります。
- ・秒針が接続状態を表示している間も、時計は正しい時刻・カレンダーを保ちます。

#### ■ 接続状態の表示について

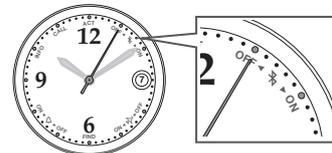
時計とスマートフォンの接続状態に変化があると、秒針は自動で接続状態(※ ON/OFF)の表示に切り替わります。

### 接続を切断する

動画

秒針が、通知表示の「CALL」(55秒位置)や「INFO」(50秒位置)を指しているときは、あらかじめ解除しておきます。

- 1 接続中に、りゅうずの位置を①にする
- 2 ボタンを2秒間押し続ける  
 ・秒針が「※ ON」(10秒位置)を指した後、「ACT」(0秒位置)を指したら、ボタンを離します。  
 接続が切断され、秒針が接続状態の「※ OFF」(5秒位置)を指します。

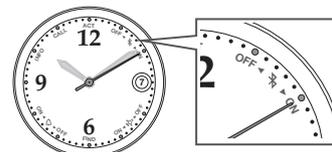


### 接続する

動画

切断したスマートフォンに再度接続します。  
 ・ペアリング前のスマートフォンは、接続できません。

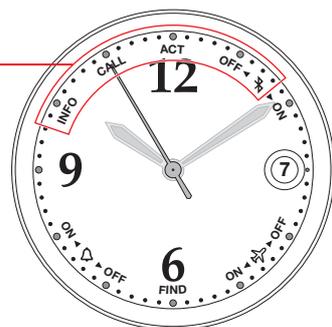
- 1 切断中に、りゅうずの位置を①にする
- 2 ボタンを2秒間押し続ける  
 ・秒針が「※ OFF」(5秒位置)を指した後、「ACT」(0秒位置)を指したら、ボタンを離します。  
 時計とスマートフォンが接続され、秒針が接続状態の「※ ON」(10秒位置)を指します。



## 時計の通知表示について

通知を受け取ると、秒針が、対応する通知表示を指します。

秒針による通知表示		
表示	秒針の位置	通知の種類
CALL	55秒	電話着信通知
INFO	50秒	各種通知
※ OFF	5秒	切断通知(LINK LOSS) (接続状態と兼用)
ACT	0秒	時刻受信または接続 プロセスの進行中 (Activation)



- 秒針の通知表示は、りゅうずの位置が①のときのみ行われます。通知表示ができない場合に通知を受け取ったときは、通知表示ができるようになるまで、通知表示は保留されます。
- 通知表示中に新しい通知を受け取ると、表示中の通知は解除され、新しい通知表示を行います。
- 秒針が通知を表示している間も、時計は正しい時刻・カレンダーを保ちます。

### ■ 通知音について

アプリの[Notification](通知)画面で、通知音の、音色、回数、音量を設定することができます。

- 秒針が通知表示を行えないときにも、通知音は鳴ります。
- 保留されていた通知表示が行われるとき、秒針による通知表示に併せて、通知音が再度鳴ります。
- 通知音は、設定の際に事前に確認することができます。詳しくは取扱説明書を参照ください。

### ■ 通知を受け取れる範囲について

時計とスマートフォンの接続可能な範囲は、最大でおよそ10 mです。壁などの障害物があると、より狭くなる場合があります。また、時計を腕など体で遮らないようにしてください。

### 通知表示を解除する

通知表示のうち「CALL」、「INFO」、「※ OFF」(切断通知、LINK LOSS)については、時計を操作して解除されるまで、秒針が秒表示に戻りません。

操作によっては、事前に通知表示を解除する必要があります。

- 解除した通知表示を再度表示させることはできません。

#### 1 通知表示中に、ボタンを1秒間押し続ける

通知表示が解除され、秒針が秒表示に戻ります。

- りゅうずの位置を変更しても、通知表示は解除されます。

## 時計をフライトモードにする

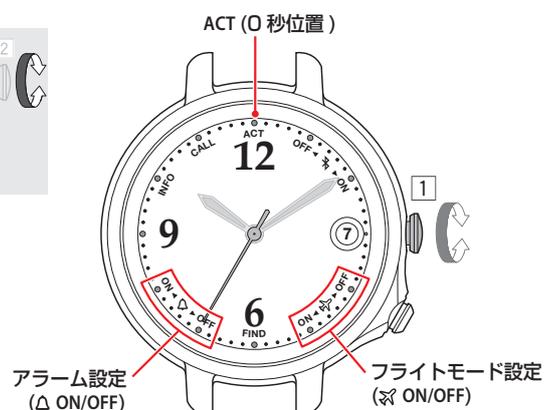
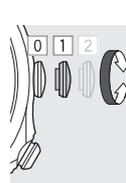
動画

飛行機の機内や病院内など、必要なときに時計の接続機能をオフにすることができます。

#### 1 りゅうずの位置を①にする

秒針が、アラーム設定(△ ON/OFF)を指します。

#### 2 りゅうずを回して、秒針がフライトモード設定(※ ON/OFF)を指すようにする



- りゅうずを回すごとに、秒針は次のように指します。  
アラーム設定(△ ON/OFF) → ACT → フライトモード設定(※ ON/OFF) → (始めに戻る)

#### 3 ボタンを押して、フライトモード設定のオン/オフを切り替える

- ボタンを押すごとに、フライトモード設定のオン/オフが切り替わります。

※ ON		フライトモード設定がオンになり、接続機能が使用できなくなります。
※ OFF		フライトモード設定がオフになり、接続機能が使用できるようになります。

#### 4 りゅうずの位置を②にして終了する

通常の表示に戻ります。

### ■ フライトモード設定をオンにすると

スマートフォンとの接続は、切断され、接続できなくなります。

- 接続しようとする時、秒針が「※ ON」(25秒位置)を指し、通常表示に戻ります。
- 自動時刻受信もできなくなります。

### ■ フライトモード設定をオフにした後は

フライトモード設定をオフにすると、時計の接続機能が使用できるようになります。

スマートフォンと接続が必要なときは、接続操作が必要です。

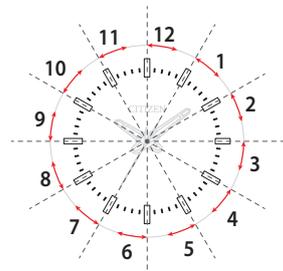
- 時計の時刻とカレンダーを確認し、必要があれば、時刻・カレンダーを合わせてください。



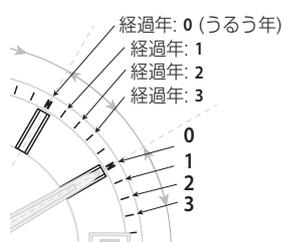
## 時刻とカレンダーを手動で合わせる

- 1 りゅうずの位置を①にする  
秒針が、アラーム設定(Δ ON/OFF)を指します。
- 2 りゅうずを回して、秒針が「ACT」(0秒位置)を指すようにする  
・ りゅうずを回すごとに、秒針は次のように指します。  
アラーム設定(Δ ON/OFF) → ACT → フライトモード設定(※ ON/OFF) → (始めに戻る)
- 3 ボタンを2秒間以上押し続ける  
・ 秒針が左右に振れて、再び「ACT」(0秒位置)を指したら、ボタンを離します。
- 4 ボタンを押して、合わせる対象を切り替える  
・ ボタンを押すごとに、合わせる対象が次のように切り替わります。  
分 → 時/日 → 年/月 → (始めに戻る)  
・ 針/表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。
- 5 りゅうずを回して、針/表示を合わせる  
・ 分針/秒針、時針/日表示はそれぞれ連動します。  
・ 日表示が切り替わる時が、午前です。午前/午後を間違わないよう注意します。  
・ 時刻と日表示は、りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

月は、下図に示した範囲で示されます。  
各数字が月に対応します。



年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。

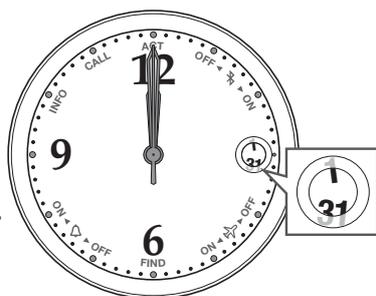


・ うるう年からの経過年数については、サポートページに詳しい解説があります。

- 6 手順4と5をくり返す
- 7 時報に合わせて、りゅうずの位置を②にして終了する

## 基準位置を確認する

- 1 りゅうずの位置を①にする  
秒針が、アラーム設定(Δ ON/OFF)を指します。
- 2 りゅうずを回して、秒針がフライトモード設定(※ ON/OFF)を指すようにする  
・ りゅうずを回すごとに、秒針は次のように指します。  
アラーム設定(Δ ON/OFF) → ACT → フライトモード設定(※ ON/OFF) → (始めに戻る)
- 3 ボタンを5秒間押し続ける  
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。  
・ 秒が動き出したら、ボタンを離します。
- 4 基準位置を確認する  
正しい基準位置は次のとおりです。  
・ 時針/分針/秒針: 0時00分0秒  
・ 日表示: 「31」と「1」の間  
  
基準位置がずれているときは、次の「基準位置を修正する」の手順4に進みます。
- 5 りゅうずの位置を②にして、終了する



## 基準位置を修正する

- 1 りゅうずの位置を①にする  
秒針が、アラーム設定(Δ ON/OFF)を指します。
- 2 りゅうずを回して、秒針がフライトモード設定(※ ON/OFF)を指すようにする  
・ りゅうずを回すごとに、秒針は次のように指します。  
アラーム設定(Δ ON/OFF) → ACT → フライトモード設定(※ ON/OFF) → (始めに戻る)
- 3 ボタンを5秒間押し続ける  
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。  
・ 秒が動き出したら、ボタンを離します。
- 4 りゅうずの位置を②にする
- 5 ボタンをくり返し押し、修正する針/表示を選ぶ  
・ ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。  
時針/日表示 → 分針/秒針 → (始めに戻る)  
・ 針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
- 6 りゅうずを回して、針/表示を修正する  
・ 分針/秒針、時針/日表示はそれぞれ連動します。  
・ りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 7 手順5と6をくり返す
- 8 りゅうずの位置を③にする  
時計は、基準位置を表示したままです。
- 9 ボタンを押して、終了する  
・ ボタンを押さなくても、2分間経過すると、通常表示に戻ります。

## オールリセットする

- 1 りゅうずの位置を②にする  
操作音が鳴り、秒針が30秒を指します。
- 2 ボタンを7秒間以上押し続けて、離す  
ボタンから手を離すと、操作音が鳴り、オールリセットが行われます。

オールリセット後の各設定	
時刻	午前0時0分0秒
カレンダー	うるう年の1月1日曜日
アラーム設定	Δ OFF
アラーム時刻	午前0時0分
ペアリング情報	ペアリング情報は削除されません。
接続状態	※ OFF
過去の発電量データ	削除されます。

## オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置の修正、時刻/カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。

